

# 石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第11回)

これまでの試行運用から本格運用に向けた「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第11回)」を開催しました。本格運用に向けた取り組み、今年度のタイムライン運用、警戒レベルの運用に伴うタイムラインの修正についての説明があり、ワークショップによる情報伝達ルートとツールの確認が行われました。

- 開催日時 令和元年8月19日(月) 13:30 ~ 17:30
- 実施場所 たきかわ文化センター(滝川市)
- 参加機関 滝川市等36機関

## 開会の様子

検討会には、各関係機関の防災担当者に加えて、オブザーバーなど総勢約80名が参加しました。

札幌管区気象台の五十嵐業務課長より、本運用に向けての連携強化、コミュニティタイムラインの推進によるタイムラインの充実化に期待すると開会挨拶がありました。

松尾座長からタイムラインの趣旨や全国で起こっている災害を事例にタイムラインの効果についての紹介があり、このタイムラインが滝川地区に根差すものとなることを期待すると挨拶がありました。



開会の挨拶  
札幌管区気象台  
五十嵐業務課長

## 試行的運用から本格運用に向けての取り組み

事務局(滝川市)より、次年度からの本格運用にむけて、現検討会から「(仮称)滝川市水害タイムライン運営協議会」へ移行する方針(要綱を次回検討会までに提示し、決定)の説明がありました。

また、北海道地域防災マスター研修会やコミュニティタイムライン研修会、11月に北海道で開催される水防災タイムライン・カンファレンス全国大会の紹介がありました。



挨拶  
松尾座長

## 令和元年度のタイムライン運用

事務局(札幌開発建設部)より各機関へ本格運用にむけて積極的な運用協力、情報連絡と共有の努力、自主的な課題整理・対応の記録、次回検討会にむけた“ふりかえり”の必要性の説明、協力依頼がありました。

## 避難勧告等に関する警戒レベルとタイムラインの修正

事務局(札幌開発建設部)より、今年度より運用の始まった避難勧告等に関する警戒レベルの説明と、警戒レベルに対応したタイムラインの更新(反映)について説明がありました。

松尾座長より警戒レベル運用の経緯について、平成30年7月豪雨を例に説明がありました。



検討会の様子

## 情報伝達ルートとツールの確認(ワークショップ)

課題となっていた、共有すべき情報の種類と項目、各情報の伝達と取得の手段、各機関の役割などについてタイムラインの読み合わせを行って話し合いました。



ワークショップの様子

## 閉会の様子

松尾座長より、今年6月の鹿児島島の豪雨災害後に実施した住民アンケートの紹介などの情報提供がありました。また、本日のワークショップのような真剣な取組が成果(地域防災力向上)に繋がると講評がありました。

最後に、札幌開発建設部の財津次長より、本格運用に向けて、引き続き御協力のお願いと、このタイムラインが一層磨かれることに期待すると閉会の挨拶がありました。



豪雨災害に関する  
情報提供と講評  
(松尾座長)



閉会の挨拶  
札幌開発建設部  
財津次長